

平成 25 年度 事業報告



玉野総合医療専門学校

21世紀の医療・保健・福祉のスペシャリストを育成します。



1. 教育面については、国家試験の全員合格を目標に全学を挙げて取り組みました。また同時に、少子高齢社会を迎えた今日において、そのニーズに

的確に応えられる人材の養成に取り組みました。

2. 研究面については、教員の研究活動を積極的にサポートし、教員個々のスキルアップを図り、学生教育の充実に寄与しました。

3. 平成26年度に向けて、教育活動、研究活動並びに地域貢献の更なる充実に向けた改善・改革を推し進めました。

4. 産学官連携を目指し、玉野市との連携を充実させるとともに加計学園の一員として産学官連携活動へも積極的に参画しました。

玉野総合医療専門学校 校長 高井 研一

教学の充実

■リメディアル教育の実施

新入生の学力を把握するために授業開始前に基礎学力試験を行い、各学科で必要となる基礎学力と学生個々の学力を確認し、個々の学力に応じた学習計画に則ったリメディアル教育を実施しました。

■新入生宿泊研修の実施

4月に玉野スポーツセンターにおいて1泊2日の宿泊研修を実施しました。研修では、学科を越えた学生同士でグループを形成し、各種プログラムを行いました。学生同士が協力して取り組むことで連帯感が生まれ協調性が養われました。また、教育学の専門家を招いて行った研修会では、専門学校での学習習慣に関する研修を行いました。これにより、卒業年次に受験する国家試験までの学習プロセスが明確となり、継続学習のモチベーションとなることが期待できます。

■国際交流・海外研修の実施

アメリカ、ブラジルの研修団を受入れ、学生主体による交流を行いました。英語による学科紹介やレクリエーションを通して国際交流を行いました。



■教育・進路懇談会の実施

学校と家庭を結ぶ架け橋として「教育・進路懇談会」を実施しました。学生の学校あるいは家庭での現状について話し合い、学校、保護者と連携した適切な指導に役立てることができました。

■研究活動の推進

医療・保健・福祉のスペシャリストを養成する学校としての主たる目的は教育活動であることは言うまでもありませんが、同時に研究活動を通じて最新の研究成果を学生に還元することも重要です。研究を推進するにあたり、学校全体あるいは学科の教育活動とのバランスを考慮し、可能な限り研究活動を行える環境を整えるよう努めました。また、臨床研究を行う際には、必要に応じて倫理委員会を開催し、研究計画が倫理的に問題ないことを確認した上で、研究活動を許可する体制を構築しました。

■非常勤講師連絡会議の実施

本校では、高い専門性を有する講義を外部の専門家を招へいして行います。そのため、新たなカリキュラムや講師陣の陣容が決定する3月に連絡会議を開催し、関連科目の講義内容のすり合わせや、より充実した講義内容とするための意見交換を行いました。

平成 26 年度に向けて

■教育課程の改革の検討

社会環境の変化により、養成校に求められるニーズも変化します。本校が置かれている状況についてさまざまな角度から検証し、必要に応じて改善、改革について検討しました。

■研究活動の推進

教員による研究活動を継続して推進します。研究活動を通じて、教員個々のスキルアップを図ることはもちろん、研究成果を学生教育へ反映させる、学生が行う研究活動へ刺激を与えるなど、研究活動がもたらす多様なプラス要因を積極的に取り入れ、教

育活動の改善、改革に活かしました。今後も継続して行います。

■地域貢献の推進

玉野市と連携協力し、市民向けのアカデミックな公開講座をはじめ生涯教育に関する出張講義、地元の中学生、高校生を対象とした講義や実習を積極的に実施しました。また、たまの・港フェスティバルや玉野まつりなど地域のイベントへも積極的に参加し、地域になくてはならない存在となるべく貢献を行いました。今後も継続して行います。

キャリア支援

■保健看護学科

就職担当教員による県内全域の主たる病院施設等への訪問、及び既卒者による各自の就職先の紹介、卒業前と就職後の各自の意識の違いなどに関する意見交換会を開催しました。

■介護福祉学科

就職担当教員による県内施設への求人状況の問い合わせを行いました。

■理学療法学科・作業療法学科

就職担当教員による県内外の本校実習施設及び病院施設等への問い合わせを行いました。

産官学連携

■玉野市内中学校、高等学校との連携

玉野市内の中学校、高等学校と連携し、出張講義あるいは高校生の実習体験の実施を行い、医療・保健・福祉の職業体験により、職業選択の一助となるよう積極的に協力しました。

■公開講座の実施

例年通り、今年も3回の公開講座を実施しました。

玉野市民等の熱意に対して医療・保健・福祉分野の情報を幅広く積極的に提供しました。

また、玉野生涯学習センターおよび公民館での出張講座等も積極的に行いました。

■玉野市内の行事への参加

玉野市で開催される「たまの・港フェスティバル（5月）」「かっからか祭り（8月）」等の行事に学生および教職員が積極的に参加しました。

学校祭「優勇祭」は台風のため残念ながら中止となりました。1月に開催した「鏡開き」では地元の保育園児や市民団体等多くの市民に楽しんでもらえました。

■加計学園の設置校としての連携

加計学園が推進する地域を越えた連携協力活動に積極的に参加し、地域を越えた社会貢献を行いました。

学生募集

■多様な入試制度の実施

平成24年度に引き続き、年内、年明け問わず多様な方々が受験できるよう入試回数を増やし、地方会場を改編し、社会人入試の複数化など、多様な入試制度を実施しました。

■職業訓練生委託事業の実施（介護福祉学科）

雇用対策の一環として平成24年度に引き続き岡山県が実施する職業訓練事業（介護福祉士養成）の受け入れ先となり、介護福祉学科へ訓練生を受け入れました。

■入学金減免制度実施（専願学生確保のため）

- ・指定校入試で合格した学生の入学金の一部を減免する制度を継続しました。
- ・玉野市内の高等学校出身者で、AO入試、特別入試で合格した学生への入学金の一部を減免する制度を継続しました。

■スクールバス運行の継続

スクールバスを岡山駅西口～本校間、倉敷駅～茶屋町駅～本校間を運行しています。平成24年度に引き続き、動く看板として運行を継続しました。



■JR宇野駅、茶屋町駅への看板設置

玉野市を訪れた方々へ玉野市内にある唯一の高等教育機関であることをアピールするためにおひざ元の宇野駅と宇野線に乗り換える拠点である茶屋町駅に看板を平成24年度に引き続き設置し、広く認知度向上に努めました。

■オープンキャンパスの充実

平成25年度オープンキャンパスの開催日数、及び内容を継続させ高校生に魅力あるイベントにします。また、山陰、姫路、福山方面からの受験者の確保を目指し送迎のためのバスを運行しました。



■テレビCMの実施

本校の認知度を向上させ、一人でも多くの方に本校に足を運んでもらうために、オープンキャンパスの告知を、5月から8月の期間に集中的にテレビC

Mを放映しました。

人事関係

■適切な人材の確保、配置

養成校としての責務を果たすために適正にあった教職員を確保し、必要に応じて適切に配置しました。

また、教育効果を最大限に考慮し、実務のスペシャリストを講師として迎え入れ、充実した講義の実施に努めました。

主な行事

4月4日	入学宣誓式
4月5日	新入生基礎学力確認試験
4月中旬	新入生宿泊研修
5月下旬	たまの・港フェスティバル
5月26日	第1回オープンキャンパス
6月23日	第2回オープンキャンパス
6月28日	国際交流（外国人研修団受入）
7月1日～	AO入試エントリー開始
7月20日	第3回オープンキャンパス
8月3日	第4回オープンキャンパス
8月24日	第5回オープンキャンパス
9月7日	教育・進路懇談会
9月28日	第1回進路・入試相談会
10月12日	特別入試
10月26日	優勇祭（学校祭）
11月9日	推薦入試Ⅰ期
12月8日	推薦入試Ⅱ期、社会人入試Ⅰ期他
12月14日	第2回進路・入試相談会
1月25日	一般入試Ⅰ期
2月27日	一般入試Ⅱ期、社会人入試Ⅱ期
3月1日	非常勤講師連絡会議
3月10日	卒業証書授与式
3月12日	第6回オープンキャンパス
3月14日	実習指導者連絡会議
3月24日	一般入試Ⅲ期他

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成25年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
医療専門課程	保健看護学科	40	44	160	167
	理学療法学科	40	45	160	156
	作業療法学科	40	35	160	112
	計	120	124	480	435
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	40	15	80	41
	計	40	15	80	41
合 計		160	139	560	476

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成25年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
玉野総合医療専門学校	104	92	91	99%	0	24	14	31

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成26年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	岡山大学病院、四国こどもおとなの医療センター、福山医療センター (株)創心會、鳥取大学医学部附属病院、津山中央病院	他
-------	--	---

■教職員数

(平成25年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	1	27	29	8

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

科目	年度	25年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		499,577	472,895
補助金収入		27,602	25,906
その他収入		22,282	21,855
帰属収入合計		549,462	520,657
基本金組入額合計		△ 2,687	△ 3,872
消費収入の部合計		546,775	516,785
人件費		372,237	372,374
教育研究経費		140,646	177,835
管理経費		42,898	44,215
その他支出		126	0
消費支出の部合計		555,907	594,423